

10年の思い、1本に詰め

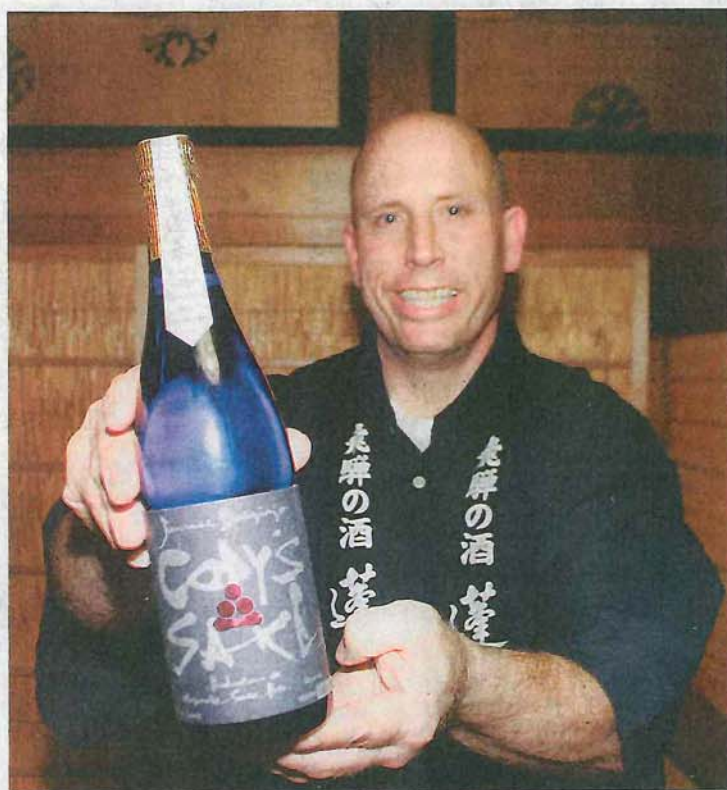
全米日本酒飲評会

自ら仕込んで金賞

古川の蔵人 コディーさん

飛騨市古川町の渡辺酒造店で働く米国人蔵人、ブレイルズフォード・ダリル・コディーさん(44)が海外向けに手掛けた純米大吟醸酒が、米国ホノルル市で開かれた「全米日本酒飲評会」で金賞を受賞した。「おいしい日本酒を造ってふるさとに広めたい」という長年の夢に向かって、大きな一歩を踏み出した。

(浜崎陽介)



飲評会は先月行われ、日米の百七十五の蔵元から四百八点の応募があった。初挑戦だったコディーさんの酒は「Cody's Sake Junmai Daiginjo」と命名。大吟醸部門八十四銘柄のうち、金賞二十二銘柄の一つに選ばれた。

コディーさんは米国ユタ州出身で、大学時代はアメリカンフットボールで全米王者にな

ったほどのスポーツマン。高山市出身の妻との結婚を機に来日し、同店の日本酒のおいしさにほれ込み、門をたたいた。

最初は言葉も分からず、もがく日々だったというが、一心に腕を磨き、今年で十年がたった。

節目を記念し、同店の銘柄「蓬菜」をベースに、自ら仕込んで甘口のフルーティーな風味に仕上げた。ラベルも自身で考案した。

国内での販売予定はないが、九月にはニューヨークを訪れ、手掛けた酒のプロモーションをする。

「十年の思いがこの一本に詰まっている。古川や店の歴史を背負って米国で広めていきたい」と意気込んでいる。

金賞を受賞した純米大吟醸酒「Cody's Sake Junmai Daiginjo」＝飛騨市古川町で